

灯

(あかり)

『汗を流して、未来を拓く』

令和5年12月15日(金) 第23号

文責：校長 森下 隆司

人権について考える ～玉之浦中学校人権集会～

12月8日(金)に、中学校の授業参観を兼ねて、中学校人権集会が開かれました。10月末に人権学習実行委員を選出し、人権集会の計画や運営について準備を続けてきました。また、中学生は人権標語や人権メッセージ色紙を作成したりしながら、継続的に人権意識を高める活動に取り組んできました。

中学生全員で取り組んだ人権・平和の劇では、今年度の夏に実施できなかった平和集会のねらいも兼ねて「勇気ある少女マララ」に取り組みました。史上最年少の16歳でノーベル平和賞を受賞した「マララ・ユスフザイ」の演説をもとにした劇を通して、人権について考え、平和のために尽くすことの意義を伝えました。また、一人ずつ人権・平和への決意を述べることによって、自身の今後の在り方を再確認したようです。一部ですが、生徒の感想を紹介します。

今までは人権についての学びを深めていただけでしたが、中学生になって人権の大切さを伝える側になった劇は、とてもいい経験になりました。人権は、自分で考えて自分で行動することもいいことだけど、誰かに伝えてみんなで動いていくこともいいことだと思いました。



たまんなっ子じまん ―長崎新聞「ジュニア俳壇」―

今年度、「たまんなっ子じまん」として、学校だよりで幾度となく紹介してきた「長崎新聞ジュニア俳壇」。12月の校長会では、冒頭の教育長説示において、村上教育長が学校だより20号で紹介した塙 優斗さんの作品を紹介してくれました。私達、学校だけでなく、様々な人が子供たちの活躍を見守ってくれています。12月10日に掲載されたジュニア俳壇には、新たに2名の作品が掲載されました。この回をもって、玉之浦中学校すべての生徒の作品が掲載される快挙達成です。

令和6年も引き続き、玉之浦小中学生の作品に期待してまいります。

「夏野菜すくすく成長背比べ」 花谷 綾音 「入道雲上から見ると雲の城」 田端 純